

ins-DH-1804

ドアハンドル DHシリーズ

ドアハンドル DH1

品番 620845
DH1

38

ボルトピッチ 220mm

重量 550g

付属品

- ・取付ボルト小 (35mm) × 2
- ・取付ボルト大 (45mm) × 2
- ・ワッシャ × 2

255

座堀

ドア

ワッシャ

A

Aのボルトの出が15mm~20mmになるように、ドア厚に合わせて大小2種類のボルトから適切なサイズをお選びください。ボルト頭が収まるよう、座堀をして下さい。ボルトの出は座堀の深さで調節いただくか、付属のボルトのサイズでは取付けが難しい場合は適切な長さのM6サイズのボルトを別途、ご用意下さい。

ドアハンドル DH2 L/R

品番 620846
DH2 L

品番 620847
DH2 R

420

63

取付ビス穴 6箇所

重量 1250g

付属品

- ・取付ビス × 6

位置合わせをして、ビスを取り付ける位置に予めドリル等で、下穴を開けて下さい。付属の取付ビスにて、直接ドア面へ取付けてください。

真鍮製品について

ドアハンドル DH3 wood

品番 620848
DH3

45

ボルトピッチ 387mm

重量 530g

付属品

- ・取付ボルト小 (30mm) × 2
- ・取付ボルト大 (40mm) × 2
- ・ワッシャ × 2

※ネジ山はインチ規格のため、ミリ規格のネジは使用できません。

435

座堀

ドア

ワッシャ

A

Aのボルトの出が10mm~15mmになるように、ドア厚に合わせて大小2種類のボルトから適切なサイズをお選びください。ボルト頭が収まるよう、座堀をして下さい。ボルトの出は座堀の深さで調節してください。

※木製のハンドルは屋外で風雨に晒されると色落ちしますので、ご注意ください。

ins-DH-1804

ドアハンドル DHシリーズ

ドアハンドル DH1

品番 620845
DH1

38

ボルトピッチ 220mm

重量 550g

付属品

- ・取付ボルト小 (35mm) × 2
- ・取付ボルト大 (45mm) × 2
- ・ワッシャ × 2

255

座堀

ドア

ワッシャ

A

Aのボルトの出が15mm~20mmになるように、ドア厚に合わせて大小2種類のボルトから適切なサイズをお選びください。ボルト頭が収まるよう、座堀をして下さい。ボルトの出は座堀の深さで調節いただくか、付属のボルトのサイズでは取付けが難しい場合は適切な長さのM6サイズのボルトを別途、ご用意下さい。

ドアハンドル DH2 L/R

品番 620846
DH2 L

品番 620847
DH2 R

420

63

取付ビス穴 6箇所

重量 1250g

付属品

- ・取付ビス × 6

位置合わせをして、ビスを取り付ける位置に予めドリル等で、下穴を開けて下さい。付属の取付ビスにて、直接ドア面へ取付けてください。

真鍮製品について

ドアハンドル DH3 wood

品番 620848
DH3

45

ボルトピッチ 387mm

重量 530g

付属品

- ・取付ボルト小 (30mm) × 2
- ・取付ボルト大 (40mm) × 2
- ・ワッシャ × 2

※ネジ山はインチ規格のため、ミリ規格のネジは使用できません。

435

座堀

ドア

ワッシャ

A

Aのボルトの出が10mm~15mmになるように、ドア厚に合わせて大小2種類のボルトから適切なサイズをお選びください。ボルト頭が収まるよう、座堀をして下さい。ボルトの出は座堀の深さで調節してください。

※木製のハンドルは屋外で風雨に晒されると色落ちしますので、ご注意ください。

このドアハンドルは無垢材の真鍮を磨いただけのシンプルな仕上げです。変色を防止する処理は一切しておりません。真鍮素材は空気に触れることで表面が黒っぽく変色してゆきます。変色が気になる場合は市販の「真鍮磨き」等で磨いていただく事で元の金色に戻ります。また、磨かずに自然に変色していくことで新品時にはない重厚なアンティーク調の色合いに変化していきます。この変化が真鍮製品の醍醐味ですので、お手入れは乾拭き程度とし、自然に変色していく様子を楽しむ事をおすすめ致します。

このドアハンドルは無垢材の真鍮を磨いただけのシンプルな仕上げです。変色を防止する処理は一切しておりません。真鍮素材は空気に触れることで表面が黒っぽく変色してゆきます。変色が気になる場合は市販の「真鍮磨き」等で磨いていただく事で元の金色に戻ります。また、磨かずに自然に変色していくことで新品時にはない重厚なアンティーク調の色合いに変化していきます。この変化が真鍮製品の醍醐味ですので、お手入れは乾拭き程度とし、自然に変色していく様子を楽しむ事をおすすめ致します。